

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立階上中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒988-0238
宮城県気仙沼市長磯中原 125 番地

E-mail : hasikami-jh@blue.ocn.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 56 名 女子 65 名 合計 121 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

『私たちは未来の防災戦士』 ～「自助・共助・公助」の学びと「つながり」の大切さを通して～

実践の概要

震災の経験を踏まえ、まずは自分の命を守ることを最重視し、「自助」「自助を基盤にした共助」「自助を基盤にした公助」を1年ごとに学習する新たなサイクルで活動している。

E S Dの基本的な考え方の一つに、「他者との関係性、社会との関係性、自然との関係性を認識し、『関わり』『つながり』を尊重できる個人を育むこと」があるが、これまで本校で実践してきた「総合的な学習の時間」の中の防災学習に、このE S Dの視点を加えて取り組んでいる。

効果的な取り組みとするために、階上地区の幼・小学校や保育園、保護者や自治会長を中心とした地域の方々、駐在所や消防団、公民館等の関係機関と話し合いの場を設けて「階上地区防災教育推進委員会」を組織し、地域ぐるみで活動している。

平成26年度は「自助」の視点から活動を進め、災害時に自分たちにできることは何かを考えさせながら取り組んだ。

～活動内容～

- ・学年毎防災体験活動
 - 1年生：防災講話（地震・津波の発生メカニズムについて）
 - 2年生：応急手当・心肺蘇生等講習会
 - 3年生：小学生への防災啓発活動
- ・少年消防クラブ活動（規律訓練、バケツリレー、ポンプ放水訓練）
- ・総合防災訓練
 - 地区毎の1次・2次避難訓練の実施
 - 外部からの支援を受けるまでに自分たちでできる避難所設営訓練の実施
- ・防災学習発表会（防災学習の成果を家庭や地域に向けて発信する。）

成果と課題

①成果

- ・避難所設置訓練や各自治会による一次避難訓練を通して、さまざまな場面において必要な事柄や役割に気づき、行動することができた。
- ・下校途中、建物火災に遭遇した生徒が、率先してバケツリレーによる初期消火を行ったり、卒業生が地元消防団に入団したりする等の活躍も見られた。

②課題

- ・震災を連想させる言葉や写真、イラスト等を見たり聞いたりすると心身の不調を起こす生徒への対応を工夫する。



【写真：バケツリレーによる
初期消火（新聞掲載）】

